

ニーズ側からみた ICTの重点化すべき技術領域

ICT市場／サービスのトレンドをてがかりにして

総合科学技術会議
ICT共通基盤技術検討WG第1回会合
21/05/2012

後藤玲子（茨城大学）
rgotoh@mx.ibaraki.ac.jp

本発表の目的と構成

▶ 目的

- 技術シーズ側の視点ではなく、ニーズ側(とくウェブベースのICT市場／サービスの動向)からICTの重点化すべき技術領域について考察する。

▶ 構成

1. 新しいウェブにおける新しい経済原理
2. 2012年のICT市場予測
3. 2012年ネットワーク整備指数からみた日本の強みと弱み
4. eGovernmentのトレンド
5. まとめ

新しいウェブにおける新しい経済原理

▶ 富の形成方法／競争力の源の変化

- 硬直的な計画・実行型から、ダイナミックな参加・協働型（マスコラボレーション）へ。
- 組織内で閉じたイノベーションから、グローバルな規模でクラウド（群衆）の知を結集するオープンイノベーションへ。

▶ 背景

- 情報処理能力、記憶容量、通信帯域幅の利用コストの大幅な低下。
- ウェブベースのオープンテクノロジーの発達と普及。
- データ処理プラットフォームの規模の経済の強化。

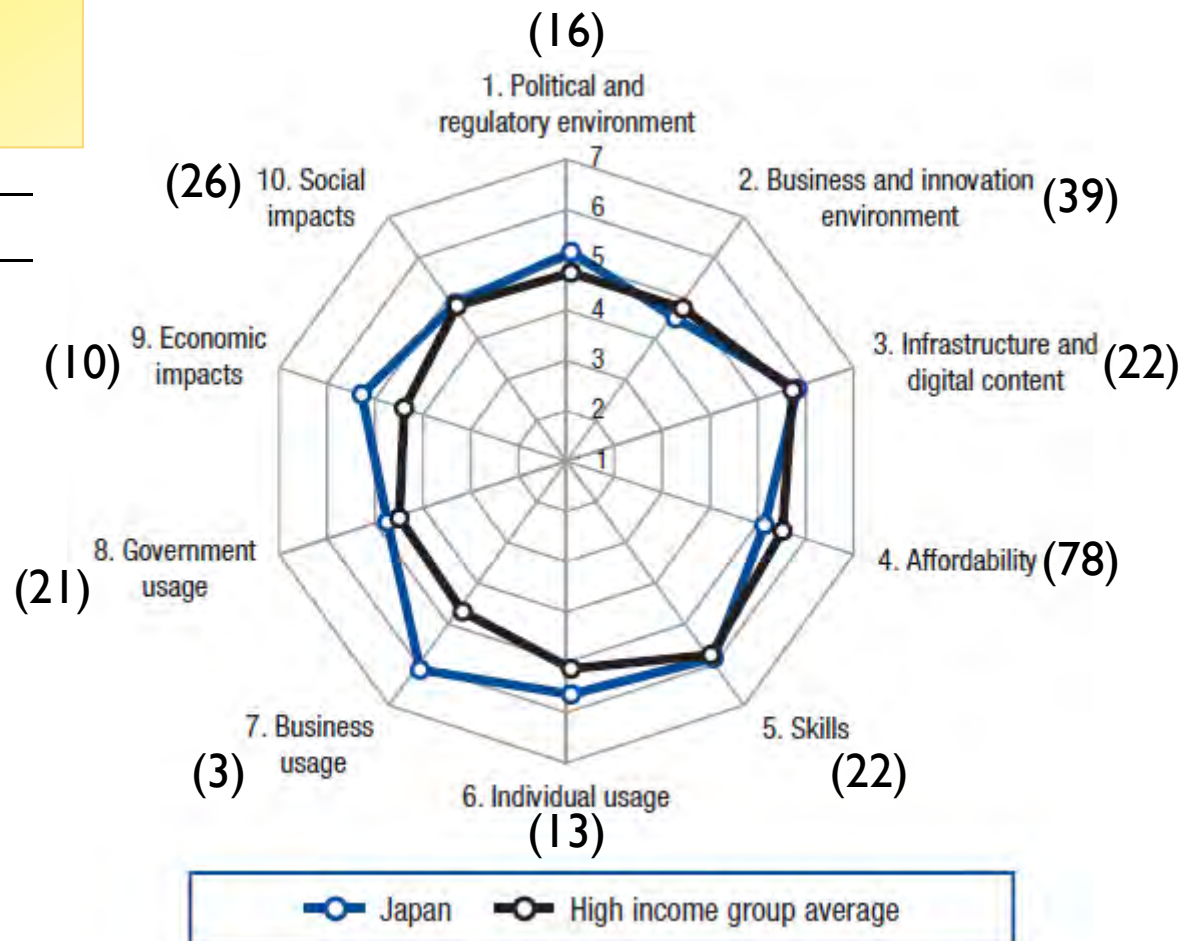
米国IDC社による2012年のICT市場予測

- ▶ **「第3のプラットフォーム」へのシフトが加速**
 - メインフレーム、PCに次ぐ、成長とイノベーションを牽引する新しいICTプラットフォーム。
 - モバイル(機器、アプリケーション、ネットワーク)、クラウドサービス、ビッグデータ処理、ソーシャルテクノロジー(、スマートデバイス)。
 - 2020年には、ICT市場規模5兆ドルのうち、80%が関連支出に(2012年は20%程度)。
- ▶ **高付加価値プラットフォームの構築が進む**
 - 特にヘルスケア、エネルギー、政府、金融、小売りの分野で。
- ▶ **モバイルと新興国のインパクトが非常に大きい**
 - 2012年のICT市場成長率の43%はモバイルデバイスが、53%は新興国が寄与。
 - 2012年の半ばまでに、中国のIT支出が日本を抜いて世界第2位に。

2012年のネットワーク整備指数①

Networked Readiness Index
2012(rank/142, 1-7best)

順位	国／地域	点数
1	スウェーデン	5.94
2	シンガポール	5.86
3	フィンランド	5.81
4	デンマーク	5.70
5	スイス	5.61
...
8	米国	5.56
...
12	韓国	5.47
...
18	日本	5.25



*p.237より引用。()内は142カ国中の順位。